

新任教諭研修会

No.	期 日	講師 (助言者)	テーマ及び内容	会 場	人 数
	5月16日 (水)	平田 智久 先生 (十文字学園女子大学教授)	あそびから子ども発見	中原市民館 ホール	183名
1	5月23日 (水)	小山 孝子 先生 (青山学院大学非常勤講師)	子どもの生きる力を育む保育 ー子どもたちへの言葉がけー	ユニオンビル	82名
2	6月20日 (水)	幸福 花江 先生 (横浜市社会福祉協議会障害者 支援センター巡回相談員)	統合保育の初歩について	中原市民館 ホール	96名
3	9月12日 (水)	古家 貴代美 先生 (女優・手話通訳士 ・日中友好親善大使)	キミちゃんと一緒に遊ぼう!	エポックなかはら 大会議室	87名
4	10月17日 (水)	神田 浩行 先生 (環境共育事務所 K&K プランニング代表)	ものをたのしむ	高津市民館 大会議室	80名
5	11月21日 (水)	細田 淳子 先生 (東京家政大学教授)	教育課程と指導計画について	高津市民館 大会議室	73名

◆研究参加園 (46園) ◆

川崎ふたば幼稚園	川崎さくら幼稚園	若宮幼稚園	東三輪幼稚園
竹園幼稚園	大師幼稚園	女躰神社幼稚園	梅園幼稚園
みゆき幼稚園	小峰幼稚園	白山幼稚園	川崎こまどり幼稚園
鹿島田幼稚園	元住吉こぼと幼稚園	東住吉幼稚園	サクラノ幼稚園
平間幼稚園	宮内幼稚園	つぼみ幼稚園	諏訪幼稚園
洗足学園大学附属幼稚園	若竹幼稚園	川崎めぐみ幼稚園	たちばな幼稚園
津田山幼稚園	梶ヶ谷幼稚園	新作やはた幼稚園	川崎たまがわ幼稚園
宮前幼稚園	有馬白百合幼稚園	初山幼稚園	さぎぬま幼稚園
ひばり幼稚園	潮見台みどり幼稚園	宮崎台幼稚園	丸山幼稚園
菅幼稚園	東菅幼稚園	宿河原幼稚園	川崎若葉幼稚園
桐光学園寺尾みどり幼稚園	ルミエール幼稚園	柿の実幼稚園	川崎青葉幼稚園
こうりんじ幼稚園	ちよがおか幼稚園		

新任教諭研修会並びに歓迎会

月 日 平成 19 年 5 月 16 日 (水)

場 所 中原市民館ホール

講 師 平田 智久先生

(十文字学園女子大学教授)

テーマ：『あそびから子ども発見』

俯瞰図番号 B1-1

1 開会のことば

2 会長挨拶 井上 久先生

- ・初めての社会人としての生活で人間関係や保護者への対応など苦労もあるかもしれないが疲れをためないよいストレス解消法を考えておこう。
- ・川崎市は就園率が 75% の全国トップクラスに位置している。川崎市の幼児教育の大きな責任を負っているので力を合わせ頑張っていきたい。

3 来賓祝辞 教育委員会教育長

木場田 文夫 様

- ・幼児教育の 2 つの役割
幼稚園という集団生活を通し思いやる気持ちや生活習慣など人間として生きていく様々な基本を身につけることと小学校の学業や環境に適応できるよう送り出すこと。
- ・幼稚園の中で楽しく生活し、様々な体験の中から多くのことが学べるような教育をしてほしい。

4 研修部長挨拶 山田 まり子先生

- ・研修は自分の意志を持って、自分を磨けるよう受けてほしい。
- ・受講票について

5 歓迎のことば 加藤 千裕先生

(サクラノ幼稚園)

- ・何年働いても反省・勉強の毎日だが、楽しいこと、うれしいこと、悲しいこと、その経験

一つひとつが今後の保育につながることを忘れないでほしい。

- ・川崎市の幼稚園協会の研修では様々な先生方の話が聞けるだけでなく、他園の保育者と情報交換ができたり悩みを相談し合うこともできる。ぜひ積極的に参加してほしい。

6 記念講演

テーマ『あそびから子ども発見』

講師 平田智久先生(十文字学園女子大学教授)

<内容>

☆新聞紙を使って実験

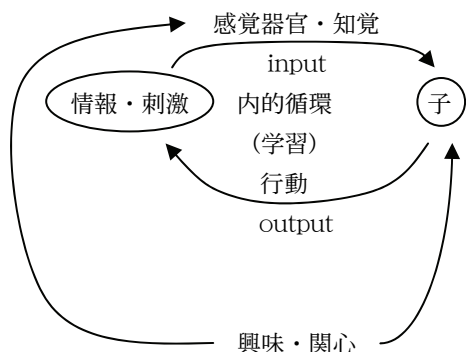
- ①新聞紙をよーいドンのかげ声で丸める。棒状に丸める人、ボール状に丸める人。
 - ・丸めるの一言でほとんどの人が棒状にした。保育をしている中で、違うことをした子に対して何で分からないの？と言ってはいないだろうか。子どもの言葉を自分がどう理解するかで声のかけ方伝え方が変わってくる。
- ②2 人組になって丸めた棒を比べる。
 - どちらが太い？どちらが長い？どちらがしわくちゃ？
 - ・一般的にきれいに細く丸めたのがよいと判断しがち。価値観も一般的にどうかで判断してしまう。
 - ・細くきれいに丸めつづけるには左右の手が違う動きをしなければならない。

→協応動作

ボタンかけ、泥だんご作りも協応動作。

- ・協応動作ができる年齢かそうでないかなどもっと子どもを見つめて知ることが大切。子どもに会うことが一番の勉強。(実験で分かったこと)
- ・概念が強くなっている。
つまり子どもが見えない、人が見えない、園の姿が見えなくなっている。
- ・頭をもっと柔らかくし、研修を受けた時などは書いてあることを丸写しせず、自分が感じたこと考えたことをメモするよう心掛けよう。

○内的循環



- ・情報や刺激を受けると、子どもはイメージし考え、それを行動に移す。行動するとまた新しい情報や刺激を受け、子どもは考える。その繰り返しを内的循環という。
- ・繰り返すこと、内的循環していることに価値がある。それを支えるのが保育者。
- ・前頭葉はイメージの元となり、前頭葉を刺激し使うことが内的循環の元となる。考え、工夫し、様々な表現となる。
- ・興味・関心は子どものイメージや考えに影響し、近くにも働きかける。
子どもへの声かけも興味・関心に寄りそいながら集中して聞くようになる。

○表現

- ・感じる→考える→行動する＝表現
大人も子どももみんな同じ方法で表現。
- ・表現した物を概念で見ると、あてはまらない子を変な子だと見てしまう。これは決してしてはいけないこと。

絵を描いた際の声かけも同じ。

例



- ㊦かけたよ。
- ㊧元気にかけたね。
いっぱいかけたね。
大きくかけたね。

描けたことを認めるのが大切。

- ㊦ これね、キリンとくまなの。
- ㊧ 先生もキリンさん見たことあるよ。
×キリンさんは首が長いよ。
×目も描いてこようか。

・表＝意思、現＝無意識

表したことに聞く耳を持ち、現れたものを感じ取り読み取る。

<まとめ>

- ・感性とは感受から行動までをいい、イメージは前頭葉からの発信をいう。行動とはあそび全体、表現そのものである。心を取り戻すには心を育てることが必要。子どもたちの表現を受け止める力を大切にしてほしい。

- 7 幼稚園讃歌 桐光学園寺尾みどり幼稚園
指揮 山田裕美子先生
ピアノ伴奏 三浦由里加先生
- 8 花束贈呈 副会長 三輪 哲也先生
伊藤 夏夫先生
- 9 閉会のことば 副会長 鈴木 伸司先生

第1回 新任教諭研修会

月 日 平成 19年 5月 23日 (水)

場 所 ユニオンビル 2F

講 師 小山 孝子先生

(青山学院大学非常勤講師)

テーマ：『子どもの生きる力を育む保育』

ー子どもたちへの言葉かけー

俯瞰図番号 C3-1

○始めに

「言葉」を中心に今日は学んでいきたい。しかし学びと言っても遊びながらである。なぜならば幼児にとっては遊びが学びであり、遊びが遊びである。

1 動いてみよう

①いろいろな人とジャンケンをする。

5 回負けたら前に出て並び、勝ち続けた人は列の一番最後になる。

研修会

*3~4 歳半ば位の子どもたちならば負けてあげる配慮も大切である。

②先頭から「1・2…、1・2…」と番号を言い、二人組になり、自己紹介をする。

2 二人でお芝居をする

*子どもと気持ちが通じるにはどうすれば良いか？を探る。

小学校の先生が子どもたちと一緒に作ったお話より

「僕はあさがおの種を3つももらいました。土を一生懸命掘って種を蒔きました。お水をあげました。

一週間たったら3つがそろって双葉になりました。」

3つの双葉がそれぞれの方法で育った。さてどんな花が一ヶ月後に咲くのか

- ・1つ目 「だいすきだよ」と言って水をあげる。
- ・2つ目 黙って水をあげる。
- ・3つ目 「めんどくさい」と言って水をあげる。

①二人で役割を決める。(種になる人、育てる人)

②それぞれの役で表現する。

- 1 土を作る。
- 2 耕す→肥料を入れる→柔らかくする
- 3 種を蒔く→どんな気持ちができる？
種の人→どんな気持ちができる？
- 4 水をまく。(ジョウロで丁寧に)
- 5 一週間がたち双葉がでた。
3つの苗をどう育てようか考える。
- 6 1つ目「だいすきだよ」と言いながら育てる。
2つ目「・・・」無言で育てる。
3つ目「あー、めんどくさい」と言って育てる。
- 7 1ヶ月後、花が咲く頃どんな花が咲いたか
2人で想像する。
- 8 こんな風に育てるのが嫌になり、「ごめんね、ごめんなさい」と言いながら2つ目・3つ目のところへ行き、それ以降「だいすきだよ」と言って育てた。

③役を交代してもう一度行う。

④「三つの種」振り返り用紙(それぞれの「時」に起きてきた気持ちを書く)に記入する。

⑤3つの種の時々の気持ち・3つの種に対するその時々蒔いた人の気持ちを発表する。

⑥黙って育てられた時と、「めんどくさい」と言われ育った時とどちらがよいか？



小学生は黙って育てられる方が圧倒的に「いや」と言う結果である。大学生は半々位である。

「愛情の反対側は？ それは無関心です。」と言うマザーテレサの言葉にもあるように、虐待された子どもたちは叩かれて痣をつくっても自分に向けてくれるほうを望む。向かれなくなるこの方を恐れる。

誰もが「だいすきだよ」と言って育てることが良いことは分かっている。しかし現実になれば、親も担任も隣の子どもならばゆっくり話が聞け、苛立つことはなく冷静に考え良い点が見えてくる。一生懸命になればなるほど子どもに近くなりすぎるため、良いと思っている「だいすきだよ」と言って育てることが困難なときが生じることを認識していることが大切である。

○最後に

子どもに「だいすきだよ」と言うことが大切であり、同時に自分自身にも声を掛けることも重要である。だめ、だめと思わず人から言われることよりも自分自身で「おつかれさま」と声を掛けることで救われることがある。言葉にする大切さを忘れない。

また、「ほうれんそう」、報告・連絡・相談を言葉にすることも大切。そして、分からないことをそのままにしないこと。

教諭の発達課題でもあるのではないかな？

1~2年目は夢中。視界がほんの僅かである。しかし一生懸命な時期。3年目位になると少し落ち着いて周囲が少し見えるようになるが、今ま

で夢中でやってきたことが一度消化され真っ白になる時期。5年目になると先が見えるようになり、自分の仕事が厳しくなる。10年目が過ぎると生活環境も変わり、なかなか居屈りにいなくなる。1年目は周囲の助けがあってすべてが回っているが、そのことに気づき感謝できるようになるのは、周りが見え始める3年目以降である。だからこそあえて言われるまま・教えられるままの言葉でも最後に「ありがとうございました。」と付ける努力をして欲しい。

人間と人間が触れ合えば、必ず傷つくことはある。一生懸命になればなるだけ傷つけること・傷つくことはおこる。相手に聞き、自分が思っていたことと違えば改めることで、修正はいくらでも可能である。そんなことを思いながら完璧な仕事でなくても良いから、自分の気持ちを素直にだして試みるのが今は良いと思う。

第2回 新任教諭研修会

月 日 平成19年6月20日(水)

場 所 高津市民館 大ホール

講 師 幸福 花江 先生

(横浜市市民福祉協議会

障害者支援センター巡回相談員)

テーマ：「統合保育の初歩について」

俯瞰図番号 D3-1

<内容>

1 統合保育の取り組みと現状

・統合保育とは

定型発達(標準な発達)の子どもたちの集団の中で発達の遅れのある子どもたちも一緒に保育する形態。

両方の子どもたちが生活経験や学習の機会が保障され発達が保障されなければならない。

・川崎市幼稚園の現状

現在、川崎市では85園中69園が統合保育を行っている。

・近い将来幼児教育現場においても特別支援教

育(保育)が導入されるだろう。

2 発達障がい理解

・発達障がいとは

何らかの脳の障がいが原因で生じる生活上の困難、不適切な状態をいい、親のしつけ育て方の問題ではない。

・発達障がいには2種類がある。

①知的発達、運動発達の遅れ(量の遅れ)

発達の順序は同じだがゆっくり

→知的障がい

②発達の偏り、バランスの問題(質の遅れ)

発達の順序が違う

→自閉性障がい

・診断について

診断名は情報の1つであり、指導方針がはっきりするものであって差別や偏見をするのではない。

・診断がつかないけれど支援が必要な子

集団に入って初めて分かることもある。指導の仕方を工夫したり、子どもに合ったスキルを身に付ける。

・自閉性障がいの特徴

①社会性の遅れ

年齢に応じたルールが守れない。

②言葉の遅れ

オウム返し。言葉だけでは理解しにくい。繰り返し・CM・キャラクターなどはよく覚える。

③固執

興味が狭い。想像性が弱い。こだわりが強い。

④感覚異常

五感がとても敏感かとても鈍感。

⑤注意の散漫・集中

刺激につられ、自分がしなければいけないことを選択できない。

⑥認知

見えないものを想像できない。

例えば「もう少し、そこで待ってて！」

どのくらいどこで待てばよいのか分からない。

3 幼稚園・集団における対応・支援

①子どもに分かりやすい環境を作る

物理的なものだけでなく対処法も分かりやすく。

- ・指示は短く。個別の声かけは小さな声で。
- ・してほしいことをストレートに伝える。
- ・座る場所は固定する。
- ・絵カード、ジェスチャーなど視覚の手がかりを使う。
- ・見通しができるよう変更は前もって伝え、切り替えやすいよう終わりを示したり、予告をする。

②困った行動を減らしよい行動を増やすためにどうするか。

- ・よい行動ができるよう手伝いの機会を作る。
- ・望ましい行動をすればはじめたらほめる。
- ・困った行動はどのような時にするのかよく観察し、背景や理由を考える。また困った行動をした後の対応もよく考える。

<まとめ>

- ・発達の違いや偏りのある子どもはより一層の細やかな配慮と丁寧な関わりが必要。適切で忍耐強い指導で子どもは必ず成長発達する。
- ・子どもとの信頼関係を築き、子どもを理解し、その子に合った対応・指導目標を立て、記録をつける。決して一人で抱え込まないように園全体で対応するようにし、家族や専門機関とうまく連携して取り組んでほしい。

<参考資料>

「統合保育へのとびら」

第3回 新任教諭研修会

月 日 平成 19年 9月 12日 (水)

場 所 エポックなかはら

講 師 古家 貴代美 先生

(女優・手話通訳士)

テーマ:「キミちゃんと一緒に遊ぼう!」

俯瞰図番号 E5-1

<内容>

○手話ソング ビビディバビディブー

○ひつつきむし

お尻を床につけて座り後ろ向きに歩く。

♪ひつつきむし ひつつきむし

友だちさがしでよっこらしょ

せかなであいさつびったんこ (2人組)

ギュッギュッギュ (背中押し合い)

顔を見ずに自己紹介をする。声だけで予想したり、背中感覚を楽しむ。

○手話ソング おなかのへるうた

○なにになにこぞうのたんけん

2人組になって子ども役と保育者役になる。

保育者役の人が人差し指を出し、それをなにになにこぞうに見立て、子ども役の人の身体を探検する。

ジャングル・・・頭

くねくねめいろ・・・耳

滝・・・・・・・・・・鼻筋

大きなほら穴・・・口

ベッド・・・・・・・・鼻の中

遊びながら視診もできる。

○ぼくのミックスジュース

歌いながらスキップで移動する。

♪こいつをぐぐつとのみほせば～の後で

ジャンケンをし、負けた人は勝った人の後ろにつながる。2番は2人で移動し、ジャンケンをして4人つながり、3番で8人つながる。

○ぴよんぴよんせんせい

8人で円になり、1人リーダー(先生)を決める。

うさぎ、かえる、おひめさまなどテーマに合

わせて先生が考えた動作をまねする。

*技術（表現力）を高めるためにはワンパターンではいけない。うさぎ＝頭の上に耳をつける動作はやめよう。

○おんぶおばけ

2人組になって前後に座り、後ろのおばけ役が前の人の肩に手をおき左右に揺れる。

♪おんぶおばけ おんぶおばけ

いるのかな いないのかな

おんぶおばけ おんぶおばけ

そろそろでるころ 1・2・3

「1・2・3」で左右どちらかに顔を出したおばけ役と振り向いた前の人と顔が向き合ったら役を交代する。

気配を感じ合うことの大切さ。

○おかおのたいそう

♪あーといったらこんなかお

アイスがたべたい あー

いーといったらこんなかお

いーいーいーいー いーだ

うーといったらこんなかお

うーうーうーうー うんち

えーといったらこんなかお

えんえんえんえん えーん

おーといったらこんなかお

おっとびっくり おー

表情を豊かに歌う。

8人グループになり、好きな行を選んで歌詞や振り付けを考え発表する。

○劇あそび

ノッポさんのくるまがゴットン！

○手話ソング 大きな古時計

第4回 新任教諭研修会

月 日 平成 18年 10月 17日 (水)

場 所 高津市民館

講 師 神田 浩行 先生

(環境共育事務所 K&K プランニング代表)

テーマ：『エコ保育活動を考える

～コミュニケーションと

自然とのふれあい～』

俯瞰図番号 E4-①

環境教育研究会と合同

内容

《資料より》

本日の予定・目標

- 1 ころほぐしからだほぐし
- 2 限られた資源
- 3 食べものネットワーク
- 4 エコ幼稚園
- 5 まとめ

目標

「幼稚園環境教育実施へのステップ」

1 ころほぐしからだほぐし

『何とかさん～してください。』

(例えば)

『石川さん、両手を挙げてください。』

始めに～さんの部分の名前だけを決めておき、その名前を言われた時だけ体を動かすことができる。この場合、名前を『石川さん』にしたので、『石川さん～してください。』と言われた時のみ体を動かすことができる。

『～してください。』のみだと体を動かすことができない。

●ころほぐしからだほぐしの目的

リラククス目的

2 限られた資源

●椅子取りゲーム

人間ではなくサルになったつもりで動く。

椅子＝バナナ＝食糧

研修会


サルはバナナを目指して座る。椅子に座れなかった人は誰かの膝の上に座る。

《講師より結果》

見の周りの物が全員に行き渡っているのではなく、分け合いながら暮らしているのが今の私たちである。

《資料より》

限られた資源



- つながり
 - ・今地球に起こっていることと自分を結びつける。
 - ・ひとり（日本だけ）で解決できることと、協力しなければできない問題がある。
- 協力
 - ・協力することの大切さ、楽しさを味わう。
- 他者への気づき
 - ・他者の立場に気づく。

《講師より》

数少ない資源を使うためにはどうしたら良いか？

地球の現状は仲良く資源を使っている。そこで大切なことは、色んな人とのコミュニケーションを取り、折り合いをつけるのが大事である。

●分かち合いが必要な物

水の取り合いがあるかもしれない。

水 100%のうち 97%が海、3%が氷、水など。


穀物 1t に対し、水 1000t が必要である。植物を育てるための水でもある。

3 食べものネットワーク

《資料より》

食べものネットワーク

日本の生活は自然に支えられている



- ・食にかぎらず、あらゆるもの（生活）が自然に支えられている！
- （現代はその自然や自然の恵みがみえにくくなっている。感じられなくなっている）

環境教育とは **つなげる教育**（関係教育）

《講師より》

食に限らず、あらゆる物（生活）が自然に支えられている。

《資料より》

食つながり

シート 1: 食つながり

つながり図

自然

日常生活(モノ)

環境

私

シート 2: 食つながりワークショップ

個人名	議題	理由	
1	使っていない冷蔵庫の電気も消す。	7	使っていない
2	冷蔵庫より冷凍庫の電気も消す。	3	使っていない
3	冷蔵庫の扉は開けず、扉を閉め忘れない。	5	忘れがち
4	野菜はなるべく新鮮な野菜を使う。	3	新鮮な野菜は少ない
5	トマトなどの野菜はなるべく新鮮なものを使う。	4	新鮮な野菜は少ない

グループ別		議題	理由
1	使っていない冷蔵庫の電気も消す。		
2	冷蔵庫より冷凍庫の電気も消す。		
3	冷蔵庫の扉は開けず、扉を閉め忘れない。		
4	野菜はなるべく新鮮な野菜を使う。		
5	トマトなどの野菜はなるべく新鮮なものを使う。		

昼のご飯を思い出し、使われている原材料、作る時に使用する道具、それができるために何が必要になるのか、そして何で、できているのか考えてみる。

(例えば：講師より)

鶏肉とトマトのリゾット



何が言いたいのか？



米、トマト、ガス、食糧の一つ一つに長い時間と手間をかけている。時間をたどっていくと、天然、資源にたどり着く。また、たどって行くと同じ所にたどり着き、繋がる。自然本来ものに繋がっている。

重要なこと→1つの物に支えられている、衣、食、住。

◎フードマイレージ

食べ物ができるまで、又、自分の口の中に入るまでの長さ。

食べ物を食べる時、身近にあるものであれば環境に良い。

研修会

- 1 実践 幼児と共に行動しながら考える
↓
- 2 反省(省察) 降園後、1日の生活を改めて振り返る
↓
- 3 計画 翌日からの援助や環境構成を考える

これらを繰り返すことで適切な援助が行える。そしてそのために必要になるのが記録である。記録とは？客観的に書く。しかし外側ではなく内面を考えて書く。日々の援助が変わってくる。

「客観的事実のみに限らず、その子の内面を思いやり読み取って書く。イメージを働かせて記録をとる」子どもたちの育ちを助けることになる。経験を重ねることにより読み取りが早くなり、また瞬間的に分かるようになる。

④保育における基本的な計画の在り方

：子ども理解から始まる

“実践” “子どもをみること” から始まる。

- ・子どもの活動を捉え、その時々的心情や意欲(行動の意味)を理解する(子どもの実態の把握)

↓

- ・長期的な見通しと重ねながら、子どもに対する願いを整理する(ねらいの設定)

↓

- ・その願いが(子どもに無理なく)実現されるような経験の構想(内容の設定)

↓

- ・その経験が可能となるような状況の構成(環境構成を含む援助の考察)(手だて)

⑤計画の立案における基本的な論理

もし「子どもたちがこういう生活がしたいと思っている」ならば「こういうふうに援助しよう」

2 指導計画作成の前段階

二人組になり、実際に擬似的活動を基に活動の流れや予想される子どもたちの思いを表に記入していく。

- 1 提案したい活動を各自記入する
- 2 二人組になって1つの活動を決める
- 3 二人で相談し活動の流れを記入する
- 4 「予想される子どもたちの思い」
 - ・経験する面白さ
 - ・直面するわからなさ(困ること)
 - ・経験するつまらなさを具体的に記入する
- 5 上記の記入を基に「経験する面白さ」から
 - ・具体的に経験する面白さとは？
 - ・この活動を通して経験してほしいと(立案に先立って潜在的にもっていた)願いは？
 - ・この活動を展開する上での留意点は？

をそれぞれ考え記入することによって指導計画の「内容」「ねらい」「留意点・配慮事項」がおのずと重なってくる。また、「ねらい」を定めるキーワードとして領域別に考えてみると分かりやすい。

活動をどう定めようかと考え思い悩んだ時に今回提案した表を参考に考えると書きやすくなる。

「記録」を生かして欲しい。

3 声 *ビデオを見ながら

どうして歌う時どなるのか？

足を開き、手を後ろに組むとどなりやすくなる。

<どなる理由>

- 1 保育者の要求、保育者の言葉掛け
 - 1 一番の大きな理由である。音量とどなり声の違いが子どもたちには分からない。
 - 2 目立ちたい・目立つ子どもにつられて
 - 3 ピアノの音が大きいの、保育者がうるさい、など

<どなり声を直す方法>

- 1 「大きな声で…、元気に！」とは言わない

↓

「もっと大きく口をあけて…」に変える

- 2 一緒に揺れながら歌う→揺れながらどなれない

歌う子どもたちの声が変わったことを伝える

- 3 ピアノの音を聞きながら歌う、友だちの声を聞きながら歌うことを伝える

うたっていることが楽しめるように！！

4 うたあそび

♪ どこか ゆこう

子どもたちと掛け合いで歌う

替え歌にして即興的に歌えることで楽しさも倍増する

♪ 手と手と手と

手をたたいたり、リズム的活動にも発展できる